



令和6年4月2日・3日



チームたかとくのなかまたち

「なかよく学び すすんで働く」

子どもの育成を目指して - 0402・03 職員会議資料①-

～自分のできることで、まわりの人を笑顔にしよう！幸せにしよう！～

上松 武

## 1 大事にしていること／ことば

### ○大事にしていること

「一人一人」：先生方一人一人、子どもたち一人一人。

一人一人の考えや思いを大事にする。

「心ひとつに」：全職員の輪を重んじる「和衷協同」。

一人ではなし得ないことも、仲間とであれば成し遂げられる。

「見えにくいことにこそ、目を向ける」：見えていることの背景がとても大事。

見えていないことをどのくらい想像できて、相手のことを考えられるか、児童生徒へのかかわりのみならず、職員同士の関係づくりにも大事な視点である。

### ○大事にしている言葉

#### 「一隅を照らす」

この言葉は天台宗を開いた最澄の言葉です。

「径寸十枚これ国宝に非ず、一隅を照らすこれ則ち国宝なり」

径寸とは金銀財宝のことです。この言葉は「一番大切な国の宝はお金ではなく、自分自身が与えられた場で努力し、その場を照らす人たちだ」という意味です。一人一人が自分の持ち場で全力を尽くせば、学校全体が明るくなります。私も、私の持ち場を一生懸命に照らしますし、皆さんの持ち場が明るく照らされるよう努力を惜しみません。

#### 「やってみなはれ」

この言葉は、サントリー創業者の鳥井信治郎が残した名言です。

ともかく実行をまず第一に考えて、これから、その中でいろいろと学びながら、第二段階のアクションを考えていったらいいんじゃないかということです。「失敗してもいいんじゃないですか、それは皆さんの責任ではない、いいと思ってやってみた皆さんに責任はない、責任は私が取ります」とも鳥井社長は言っています。

皆さんも、子どもたちの今や将来のためにいいと思ったことはドンドンやってみましょう。責任は、私が取ります。

## 2 先生方への6つのお願い

### (1) 「教員になったきっかけは？」 「教員として働こうと思ったのはなぜ？」

- ・子どもに向き合う前に、自分に向き合うこと。そして、この2つの問いにはっきりとした答えをもって、子どもたちの前に立ってほしい。

### (2) 学級内で、学年内で、学部内で、みなが同じ情報を持つ

- ・子どもたちの指導支援に当たるとき、指導支援する人たちが同じ情報をもっていないと、チグハグな指導になる。その結果、不利益を被るのは子ども。
- ・いいことだ！と思って事を進めようとするとき、進める内容を仲間が知らないとう

なるか。不安や不満、不平が出てくる。その結果、不利益を被るのは子ども。

- ・だから、指導にかかわる人、計画にかかわる人全員が同じ情報を持つこと。
- ・また、お金が絡んでいたり、外部の人や機関と一緒にいたりすることは、必ず管理職が知っていること。万が一の時の責任は誰がとりますか。

### (3) 「お陰様」の気持ちを持つ

- ・「お陰様で」という気持ちを持ち、それを言葉に出して伝え行動することを年度末まで皆さんと実行していきたいと思っている。
- ・この気持ちがなければ、相手意識はもてない、思いやりはにじみ出てこない、相手の背負っているいろいろな苦勞を感じることができない、私はそう思います。そして、学校経営方針にある「和衷協同」の職員集団などなれっこないと思っています。
- ・どうか同僚に「お陰様で」という気持ちをもって仕事に当たってほしい。そして、どうか皆さんのお陰様で自分の仕事ができていると言葉にして伝え合ってください。そう行動に表してください。このようなコミュニケーションが私たちの職場には必要なのではないかと、私は思います。

### (4) 真の意味での働き方改革を進めよう

- ・人生 100 年時代、教員という仕事を充実させるためには、教員の仕事以外の充実が必要だと思う。そのための働き方改革である。業務改善や段取りよくとか、時間対効果は手段である。
- ・また、様々な勤務形態があることも、人生 100 年時代を豊かに送るための手段。部分休業あり、育児短時間勤務あり、もちろん年次有給休暇や介護休暇、家族看護休暇も同様である。
- ・他人の勤務の仕方や休みの取り方などに絡んで、陰でコソコソと感情的になって話をするのは慎むこと。仕事に支障が出る場合などは、コミュニケーションをとり、対話で解決を図ってほしい。そうしないと、お互いに働きにくくなるし、そもそもいい教育やいい授業はできない。
- ・お互いの働き方や教員になった気持ちを尊重しよう。

### (5) 「こう言ったら、相手はどう思うか（どう感じるか）」を十分考えた言動をとろう

- ・次の3つのことを、1年間やり続けよう！と、子どもたちには伝えたいと考えています。

- ①自分のできることで、周りの人を笑顔にしよう、幸せ（Happy）にしよう
- ②何かをしてもらった時には、自分から「ありがとう」と言おう
- ③相手をいやな気持ちにさせてしまったら、自分から「ごめんなさい」と言おう



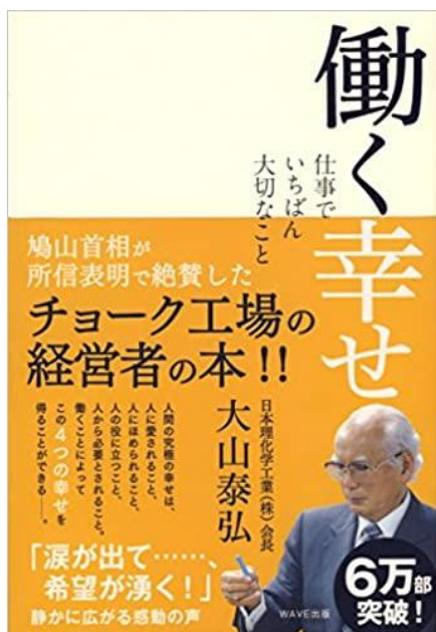
- ・③については、自分が悪いと思ってもなかなか言えないのではないのでしょうか。このスライドのように、相手がいやな気持ちになったら、まず自分から「ごめんなさい」と謝りましょう。
- ・謝ってくれたことで、相手はホッとしたりこやかに なったりします。仲直りのきっかけになります。1年後には、自分から潔く謝れる人になりましょう。

- ・私は、今年もこの学校を、みんなが笑顔で、楽しく勉強したり遊んだりする学校にします。みんなが今日も楽しかった、明日もまた学校に行きたいと思う学校にします。いっしょにそんな学校にしていきましょう。

### (6) 「たくさん失敗し、失敗から学ぼう」

- ・やらずにいることより、やってみて失敗した方がいい。この学校にはフォローしてくれる仲間がたくさんいる。
- ・失敗していいから、がむしゃらに何事にも取り組んでほしい。がむしゃらに子どもとかかわってほしい。「よくわからないから」と言って尻込みすることはしないでほしい。失敗して早く自己開示した方が楽しく仕事ができると私は考える。

## 3 書籍の紹介



### 「働く幸せ」 大山泰弘 WAVE 出版

鳩山首相所信表明演説で触れた「チョーク工場」の感動の逸話、「人間の究極の四つの幸せ」はこの本で語られています!

ベストセラー『日本でいちばん大切にしたい会社』で感動を呼んだチョークの会社の物語!

知的障害者が社員の7割。そして、地域に支えられながら50年間持続経営。「利益第一主義」ではないからこそ、企業は永続的に発展できる——。そのことを体現する著者の軌跡が一冊に!

「私たちは、なぜ働くのか?」その答えがここにあります。

「導師は人間の究極の幸せは、人に愛されること、人にほめられること、人の役にたつこと、人から必要とされること、の4つと言われました。働くことによって愛以外の3つの幸せは得れるのだ。私はその愛までも得られると思う。」(大山泰弘)

「人は働くことによって幸せになれる。ならば、会社は幸せをもたらす場所なんです」「利益第一主義」の世の中で忘れられていた、会社本来の存在意義が見えてきます。そして、「働く」ことをもっと大事にすることで、私たちは生き生きとした社会を取り戻すことができますはず--。

知的障害者とともに50年以上歩み続けてきた著者だからこそ書ける「これからの社会像」。

Amazon ホームページから引用